

青森県鶴田町の斉藤さん

町内各施設にりんごのプレゼント



りんごをもらって喜ぶ園児（旭保育園）

りんごのプレゼントが、12月10日（金）町内各小中学校、保育所、保育園、アルテンハイム鶴宮園、パラディーノほたるの里へありました。これは、姉妹都市の青森県鶴田町の斉藤常彦さんから贈られたもので、今年で7回目となります。

このりんごは、減農薬で化学肥料を一切使わず栽培されており、今回ふじ850個が贈られました。それぞれの施設では、「毎年おいしいりんごをありがとうございます。」と、とても喜んでいました。

柏原の玉利茂さん

統計功労者表彰を受ける

柏原の玉利茂さんが、永年にわたり農林水産統計調査に協力したとして、農林水産大臣感謝状を受けました。

玉利さんは、10年間にわたり、農家の経営を明らかにする目的で、農家の収入・支出及び農業労働時間等について毎日記帳されており、それが評価されての受賞となりました。

伝達式は、11月9日（火）鹿児島市で行われました。



感謝状を手に喜びの玉利さん

神子の東郷光行さん

収穫した後からまたキャベツ



2度目の収穫目のキャベツ

神子の東郷光行さんの畑で、夏に植えて収穫したキャベツの茎から、2度目のキャベツができました。川薩農業改良普及センターの普及員によると、「普通は、芽が出て小さい実しかつげず、1回目のキャベツと同じ位になることは珍しい。」ということで、東郷さんも「芽が出てきたのでそのままにしていたが、まさか巻いてくるとは思わなかった。」と話していました。

この畑では、半分ぐらいのキャベツが大きく成長していました。

柏原の久保美恵子さん

女性農業経営士に認定



いちごの収穫作業をする久保さん

柏原の久保美恵子さんが、平成16年度女性農業経営士に認定されました。女性農業経営士は、農業経営に積極的に参画し、わが家の農業経営や地域農業の課題解決に積極的に取り組むなど地域のリーダー的女性として県知事が認定した女性農業者で、これまで168名の方が認定されており、今回新たに30名が認定されました。

久保さんは、「一般の方にも農業を知ってもらうために、地域の方々と一緒に作業をすることで、交流を進めていきたい。」と抱負を話されました。

神子の濱島さん

プランターいちごを出荷

プランターいちごの出荷式が、12月8日（水）神子の濱島幸一さんのビニールハウスで行われました。このプランターには「さつまとよのか」が2株ずつ植えてあり、今回400鉢が用意されました。このプランターいちごは、10月に植えつけたものです。今年は、暖冬のせいか生育が早く、色づきも良いそうです。

クリスマスプレゼントなどに人気があり、郵パックでの発送のほか、あび〜る館と自慢館で販売されています。



手作業で箱詰めが行われました

葉たばこ収納

総売上額が9,629万円に



審査を見つめる生産者

葉たばこの収納が、12月9日（木）、10日（金）の2日間大口市の葉タバコ取扱所で行われました。本町からも13人が約51トン出荷しました。取扱所の中では、多くの生産者が見守る中、日本たばこ産業の鑑定員により厳正な審査が行われ、出荷額が決定されました。

現在本町のたばこ農家は13戸で、栽培面積が17,9ha、10a当たりの出荷額は53万6千円で総売上額は9,629万円となっています。